

PRESS RELEASE

2016/8/3

第 12 回中之島映像劇場

飯村隆彦の映像アート

The Film and Video of Takahiko Imura

国立国際美術館



《Ai (Love)》(飯村隆彦、1962年)



《リリパット王国舞踏会》(飯村隆彦、1964年)



《オブザーバー／オブザーブド》(飯村隆彦、1976年)



《トーキング・ピクチャー》(飯村隆彦、1981年)



《1秒間24コマ》(飯村隆彦、1975-78年)

2016年9月24日(土)

13:00 から Aプログラム「初期映画作品」

15:00 から Bプログラム「シネダンスと様々な実験」

2016年9月25日(日)

13:00 から Cプログラム「ミニマル／コンセプチュアル」

15:00 から Dプログラム「映画の構造とシステム」

各プログラムとも、上映後に作家による作品解説あり

参加無料・全席自由・先着130名・各プログラム入れ替え制

各日10:00から当日の各プログラムの整理券を配布(1名様につき1枚)

会場 国立国際美術館 地下1階講堂(〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55)

主催 国立国際美術館

協賛 ダイキン工業現代美術振興財団

第 12 回中之島映像劇場

飯村隆彦の映像アート

開催趣旨

第 12 回中之島映像劇場では、日本の実験映像・メディアアートのパイオニアであり、今なお精力的に活動をつづけている飯村隆彦氏の映像作品を特集上映いたします。

飯村氏は、1960 年代初頭、戦前のヨーロッパ前衛映画やアメリカ実験映画が日本で紹介される前から映画制作を開始し、当時の前衛芸術家と交流を持ちながら、独自の視点と立場で作品を作ります。1964 年には、ドナルド・リチー、大林宣彦、高林陽一らと日本初の実験映画の制作・上映組織「フィルム・アンデパンダン」を組織し、自分達の作品を上映するだけでなく、「2 分間フィルムフェスティバル」など、ジャンルを横断した映画祭を催します。

1966 年に草月アートセンターらによって、日本において海外の前衛映画・実験映画の紹介が本格化するのと入れ替わるように渡米し、活動の拠点をニューヨークに置くようになります。インスタレーションやパフォーマンスという言葉がコンテンポラリーアートの用語となる前からこれらの映像関連作品を制作し、ビデオアートも最初期から作品を発表している飯村氏は、日本のメディアアートを牽引してきたアーティストと言えるでしょう。

また、現代アートや映像の批評および紹介者としても重要な仕事をしており、特に 60 年代から 70 年代にかけてのニューヨークを中心としたアメリカ芸術動向のルポは、アーティストでないと語りえない慧眼と洞察力にあふれるものです。

今回は、飯村氏の多様な映像作品を時代と傾向によって 4 つのプログラムに分けて紹介いたします。

現在、メディアアートという言葉は、主にコンピュータを応用したテクノロジーや、アニメ、ゲームなどのエンターテインメントとの関わりで用いられていますが、一度見直してもよい時期に差しかかっているかもしれません。そのとき、飯村氏の仕事は、重要な指標として、私たちに考える手掛かりを与えてくれるでしょう。



飯村 隆彦

1937 年東京都生まれ。映像、現代美術、メディアアートの領域を横断する先駆的な仕事と国際的な活躍で日本を代表する映像作家・メディアアーティスト。2015 年には、アーティストおよび評論家としての活動が評価され、第 19 回文化庁メディア芸術祭功労賞を受賞した。

第12回中之島映像劇場

飯村隆彦の映像アート

上映プログラム 各プログラムとも、上映後に作家による作品解説あり

9月24日(土) 13:00から Aプログラム「初期映画作品」

日本の実験映画のパイオニアとして、1960年代初期のストーリーを排した視覚的映画。

- 《くず》1962, 16mm, 8min. 音楽：小杉武久
- 《いろ》1962, 16mm, 12min. 音楽：刀根康尚
- 《ダダ62》1962, 16mm, 10min. サイレント
- 《ド・サド》1962, 16mm, 10min. サウンド
- 《Ai (Love)》1962, 16mm, 10min. 音楽：オノ・ヨーコ
- 《オナン》1962, 16mm, 7min. 音楽：刀根康尚

9月24日(土) 15:00から Bプログラム「シネダンスと様々な実験」

舞踏を始め、手持ちカメラによる動きと合体したアクション・カメラを使った作品。

- 《あんま》1963-2001, 16mm, 15min. (16FPS) サイレント
- 《バラ色ダンス》1965-2001, 16mm, 13min. (16FPS) サイレント
- 《さかさま》1963, 16mm, 14min. (16FPS) サイレント
- 《リリパット王国舞踏会》1964, 16mm, 12min. サウンド ※2面スクリーン
- 《私は影を見た》1966, 16mm, 13min. (16FPS) サイレント
- 《うらとおもて》1964, 16mm, 2min. サイレント
- 《マイ・ドキュメンタリー》1964, 16mm, 2min. サイレント

9月25日(日) 13:00から Cプログラム「ミニマル／コンセプチュアル」

最少のイメージで、映像のコンセプトを深めた視覚／哲学的な映画とビデオ。

- 《フィルム・ストリップス》1966-70, 16mm, 22min. サウンド：飯村隆彦
- 《イン・ザ・リバー》1969-70, 16mm, 17min. サウンド：飯村隆彦
- 《椅子》1970, DVD, 5min. サウンド：飯村隆彦
- 《まばたき》1970, DVD, 2min. サウンド：飯村隆彦
- 《タイム・トンネル》1971, DVD, 5min. サウンド：飯村隆彦
- 《オブザーバー／オブザーブド》1976, DVD, 24min. 音声：飯村隆彦

9月25日(日) 15:00から Dプログラム「映画の構造とシステム」

映画の時間とビデオによる交信を眼前化した映像アートの新局面。

- 《シャッター》1971, 16mm, 25min. 音楽：佐藤敬次郎
- 《1秒間24コマ》1975-78, 16mm, 12min. サウンド：飯村隆彦
- 《トーキング・ピクチャー》1981, DVD, 15min. 音声：飯村隆彦
- 《スクリーン・プレイ》1963, DVD, 10min. サウンド：飯村隆彦

第12回中之島映像劇場

飯村隆彦の映像アート

交通アクセス

京阪電車中之島線「渡辺橋駅」(2番出口)から南西へ徒歩約5分

地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」(3番出口)から西へ徒歩約10分

JR大阪環状線「福島駅」、東西線「新福島駅」(2番出口)から南へ徒歩約10分

阪神電車「福島駅」(3番出口)から南へ徒歩約10分

当館には専用駐車場はありません。ご来館は電車・バス等をご利用ください

心身に障害のある方で、車で来館される場合は、当館北側の有料駐車場をご利用ください

国立国際美術館では、本上映会時に次の展覧会を開催中です

「始皇帝と大兵馬俑」、「コレクション2」(会期：7月5日(火)-10月2日(日))

一般のお客様からのお問い合わせ先 国立国際美術館 TEL: 06-6447-4680 (代表)

URL <http://www.nmao.go.jp/>

広報画像

このプレスリリースに掲載した画像を広報画像としてご用意しております

別紙「広報画像申込書」にて申請していただきますようお願いします

「広報画像申込書」は、国立国際美術館のホームページからダウンロードしていただけます

国立国際美術館「プレスの方へ」URL <http://www.nmao.go.jp/press/>

本上映会の広報を目的とした場合に限り、ご使用いただけます

画像と一緒にお送りするキャプションおよびクレジットを明記してください

画像のトリミングや、画像に文字を重ねての使用はできません

インターネットに掲載する場合は、無断転載禁止の旨を明記のうえ、ダウンロードできないように加工してご使用ください

開催日・会場・画像キャプションなどの確認のため、ゲラ刷り・原稿段階で広報担当(下記参照)までメールまたはFAXにてお送りください

掲載(放映)終了後に、掲載出版物または録画メディアを広報担当(下記参照)宛にお送りください
インターネットに掲載した場合は、URLをお知らせください

画像の二次利用や転載はお断りいたします。使用後は画像データを破棄してください

広報に関するお問い合わせ先

国立国際美術館 学芸課 広報担当 冬木 明里

E-mail: kouhou@nmao.go.jp TEL: 06-6447-4671 (直通) FAX: 06-6447-4698 (学芸課)

上映会担当 大橋 勝(国立国際美術館 客員研究員)